

オーストラリアの医療情報提供の現状と司書の役割

木幡洋子（愛知県立大学）

【報告の概要】

オーストラリアでは、1995年の競争政策導入に伴い、医療現場においても入札や民営化という手法が導入されるようになった。医療業務に直接関係のない清掃や給食などにおいては入札によって業者が決定され、業務委託が進められているが、病院図書館業務は研修病院としての位置づけがある場合は医学教育との関係が深い専門的な業務として委託化は免れている。もっとも、常勤職員数が減らされ、常勤職員の仕事が劇的に増加しているという現実がある。

さらに、政府はICT化を進め、ジャーナルの電子情報化と医学情報のウェブサイトの構築を州事業として進めている。その結果として、図書館施設は面積と数が縮小され、図書館司書の役割の見直しも進んでいる。こうした現状に対し、司書からは、図書に限らない情報の専門家が司書であり、電子情報に対しても提供サービスには司書が関わるべきだという声があがっている。

こうした司書概念の混乱の中、司書たちの活動は、図書館の役割を訴えることや、予算獲得、相互研鑽、といった内部的な活動にとどまらず、州が構築する医学情報サイトにおいて司書の意見を取り入れるべきことを訴えるといった社会的な活動や、政策提言にまで広がらざるを得ない状況になっている。

【内容項目】

1. オーストラリアの競争政策と医療政策
2. 病院群の再編とそれに伴う図書館の再編
3. 電子ジャーナルの整備と医療情報サイトの構築
4. 司書の役割と図書館のあり方
5. ALIA¹とHLI²の役割
6. ICT社会における司書の役割

なお、上記はスライドの大項目であり、スライドは10月までに下記のURLにアップする予定。

<http://www.geocities.jp/ykowatajp/>（木幡洋子で検索）

¹ Australian Library and Information Association

² Health Libraries Inc.